



(報道関係各位)

令和 8年1月21日 発表

【本件に関するお問い合わせ】

 HP公開

川越市役所 保健予防課 感染症担当 担当者：岩間、淵上

TEL 049-227-5102 (直通) Fax : 049-227-5108 メール : hokenyobo★city.kawagoe.lg.jp

麻しん(はしか)に関する注意喚起

概要

令和8年1月16日（金）、新潟県内で、麻しん患者が確認されました。

本公表は、新潟県の管轄保健所が患者の行動歴を調査したところ、周囲へ感染させる可能性のある時期に、川越市内の不特定多数の人が利用する店舗を利用していたことが判明しましたので、広く注意喚起するものです。

当該店舗を感染の可能性のある日時に利用された方は体調に注意し、発熱・発疹など、麻しんを疑う症状が現れた場合には、保健所に連絡のうえ、速やかに医療機関の受診をお願いします。

医療機関受診の際は、マスクの着用を徹底いただくとともに、公共交通機関等の利用を避けてください。

麻しんウイルスの空気中での生存期間は、2時間以下とされています。

現時点において麻しん患者が利用した店舗を利用しても心配はありません。

感染可能期間に不特定多数の方と接触した可能性のある日時及び施設

| 感染の可能性のある日時（※） | 利用店舗 |
|----------------------------------|-------------|
| 令和8年1月12日（月・祝） 18時00分から21時00分 | びっくりドンキー川越店 |

（※） 退出時刻から2時間後までを記載しております。

上記店舗への直接のお問い合わせはくれぐれもお控え願います。



患者の状況

- (1) 年代・性別: 40歳代 男性
- (2) 発症年月日: 令和8年1月9日
- (3) 症状: 咳嗽、悪寒、結膜充血、発熱
- (4) 麻しん予防接種歴: なし
- (5) 発生届出年月日: 令和8年1月15日 (検査確定: 令和8年1月16日)

市民の皆様へ

(1) 麻しんとは

- ・麻しんは、感染力が極めて強い感染症で、免疫のない人が感染すると、年齢を問わずほとんどが発病すると言われています。
- ・感染すると10日から12日の潜伏期間（症状のない期間）を経て、38℃程度の発熱、風邪のような症状（咳や鼻水など）が現れ、2～3日間続きます。その後、39℃以上の高熱となり、体中に赤い発疹が出現します。
- ・麻しんウイルスの空気中での生存期間は2時間以下とされています。

(2) 感染を防止するために

- ・麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる病気であり、空気感染、飛沫感染、接触感染でヒトからヒトに感染が伝播するため、換気の徹底が重要です。
- ・有効な予防方法はワクチン接種です。2回接種による免疫獲得率は97～99%以上と報告されており、発症リスクを最小限に抑えることが期待できます。

(3) 感染を拡げないために

- ・症状や経過から麻しんが疑われる場合は、保健所に連絡のうえ、速やかに医療機関を受診してください。マスクの着用を徹底いただくとともに、公共交通機関等の利用を避けてください。

報道機関の皆様へ

- ・本情報提供は、感染症のまん延防止のために行うものですので、報道機関各位におかれましては、患者等の個人に係る情報について、プライバシー保護等の観点から、提供資料の範囲内での報道に、格段の御配慮をお願いします。



参考情報

- ・川越市ホームページ「麻しん（はしか）」
<https://www.city.kawagoe.saitama.jp/kenko/iryo/1006178/1006180/1006188.html>
- ・埼玉県ホームページ「麻しん及び風しん流行情報」
<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/masinn.html>
- ・厚生労働省ホームページ「麻しん」
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou_kekkaku-kansenshou/measles/index.html
- ・国立健康危機管理研究機構ホームページ「麻しん」
<https://id-info.jihs.go.jp/diseases/ma/measles/>